放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

上汐 放自

公表：令和 7年 1月 7日　　事業所名　アップル上汐

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	89%	11%	・活動毎にエリアを分けている ・スケジュールを分けて1つのエリアに密集しないようにしている ・公園等も利用して広く使えている	
	2	職員の配置数は適切である	89%	11%	・1日最低6人は職員を配置している（利用定員10名に対し）	・体調不良等による欠員の場合、ヘルプ要請できる体制を整えている ・公園等の外出時などゆとりある配置数を心掛けたい
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	・活動毎のエリアの絨毯を色分けしており、何をどこでやるのかを可視化している ・手すりを設置している ・構造化されている ・バリアフリーにしている	・一部室内に段差があるが、その横にスロープを設置している ・トイレも身体障がい者専用もある
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	89%	11%	・アルバイト職員までは参画していない ・アセスメントを公開している	・書面やSNSにて意見を出してもらうようにしている
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	・希望する支援内容で取り入れられるものについては、即時対応している	・保護者に対し通知したり、会報誌等あらゆる方法で伝達した内容でも、認識していただけていないことが多々あり、改善目標としている ・保護者の意向は全職員に伝えられ、業務改善につながっている
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	・ホームページにて公開している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%	0%	・外部評価を実施	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	89%	11%	・シフト調整 ・外部研修への参加 ・研修を受けに行った職員の研修報告を共有している	・オンライン研修や紙面にて配布する等、できることを行っている ・非常勤だが、今後参加してみたい
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	・時間をかけて丁寧にアセスメントを行っている	・定期的にアセスメントを行い、職員に共有されている ・児童の家庭の様子や特性を把握するように心掛けている
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	・絵カードや個別スケジュール、筆談、手話等を活用している	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	・毎日朝礼時に確認、決定している ・変更等は職員で話し合ってチームで決定している	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	・保護者との面談以外、普段からの情報共有で必要な支援は随時取り入れている ・季節に応じたプログラムの実施 ・児童の様子を見ながら変更することも工夫している ・個別の活動や小集団での活動、外出等バランスを見てスケジュールに取り入れている	・同じものが続かないように外出等も取り入れている ・子どもたちの成長、特性に応じてプログラムを変更しており工夫されている

適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	・内容量など、日に合わせて行っている	・外出や、個別・集団活動等
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	・個別で必要な支援、小集団で行える内容等、考えている ・異なる学校や学年で交わるようにする	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	・朝礼時に取り決めた内容を議事録に残し、SNS上で職員へ周知 ・まとめた用紙の共有や口頭でも伝達している（出勤じゃない時でも）	・確認不足の職員もいるので、内容や役割などは書面やSNSで伝達した後も、口頭で確認するなどの対応が必要 ・支援内容や気をつける点は伝えられ、共有できている
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	・情報共有が必要な内容に関しては、支援終了後に話し合っている ・気づいた点等、その日の様子や支援内容を具体的に誰が見てもわかるよう記録を残し、共有している	・不適切な表現や、十分でない記録に対し、指導や聞き取りが必要 ・打合せ等になると、非常勤職員を交えて行うことが難しい ・記録以外の振り返りをもっとしたい
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	・記録を残し情報共有している ・気になったことも記録するようにしている	・前回の支援で参考にし、次回からの改善につながっている
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	・半年に一度の面談 ・相談や困りごとに関しては随時対応	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	89%	11%	・個別のスケジュールはあるが、その中で「何を」するのかは、自己選択、自己決定してもらっている	・支援員が変わっても同じ対応ができるよう、徹底する必要がある
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	・児童発達支援管理責任者が参画している	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	100%	0%	・基本的には学校の情報は保護者からいただいており、直接学校と連絡調整は行っていない ・イレギュラーや当日変更の場合は、保護者確認の元、直接学校とやり取りを行っている	・保護者を通じてお便りの共有、HPのチェック、未確認の場合は電話連絡等行っている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	100%	0%		・該当なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	89%	11%	・保護者からの情報提供 ・不十分な場合、何かあれば連絡を取ることも行っている	・該当なし
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%	・相談支援事業所と情報共有している	・移行前に担当者会議を開き、情報共有・支援方法等の引継ぎを行っている
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	89%	11%	・研修等への参加	・コロナ禍で研修を受ける機会が減っているが、今後は増やしていきたいと考えている
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	89%	11%	・公園等で一緒に遊ぶことはあるが、その他での交流は少ない	・そういった活動の場がなく、デイサービス事業所だけで関わる機会を作るのは難しいと感じる
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	89%	11%	・自立支援協議会に参加（子ども部会含む）	

	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	・専用システムで個別のやり取りを活用 ・送迎時に細かい状況伝達、聞き取りを行っている	・システムを活用していただけない保護者に対し、手紙や送迎時に直接お伝えしているが、それでも不十分な保護者に対し、どうアプローチしていくのかが課題
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	100%	0%	・個別の子育てや困りごとに関して随時アドバイスや情報を提供している	・ペアレントトレーニングの実施を検討中
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	89%	11%	・契約時に丁寧に説明している	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	・半年に一度の面談 ・相談や困りごとに関しては随時 ・必要と判断した場合は、相談支援事業所と連携して担当者会議を開いている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100%	0%	・毎年保護者会を開催している　・イベント等に参加することで保護者同士の交流の場になっている	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	・送迎時や連絡帳、電話、SNSで随時即対応するようにしている	・迅速に対応し業務改善に繋げている
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	・不定期で「アップル通信」発行 ・活動記録や行事予定などはXやInstagram、専用システムを利用して「活動記録」として発信している	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	・重要書類については鍵付きの棚に保管している ・配布物に関しては個人ファイルに入れる前に児童の名前が記載されている封筒に入れ、万が一間違えて他児のファイルにいれてしまっても、封筒を開ける前に間違いに気づくようにしている（中身を見る前に） ・個人情報が載っている書類はシュレッダー、写真は保護者提供後すぐに破棄している	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	・言語、絵カードや、文字や手話で意思疎通を図る	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	100%	0%	・季節の作品を作った際に内覧していただけるよう、アナウンスしている	・本年度から開催するという昨年度の目標を達成できた。 ・作品展を地域の方にも周知しようと思っているが、児童発達支援事業所が行うことなのか、悩む事案でもあると感じている
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	・避難訓練を年2回実施	・その様子に関してSNSや専用システム、アップル通信にて公表している

非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	・避難訓練を年2回実施	・その様子に関してSNSや専用システム、アップル通信にて公表している
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	・会社全体で取り組んでいる ・研修参加や研修記録の配布	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	・必要な場合は面接時に了承を得て計画書に記載する	・現在該当なし
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	・保護者からのアセスメントで把握している	・保護者より伝達されているのみで、医師の指示書をいただいたことはない
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	・ヒヤリハット事例があった件を周知するとともに、ファイルに綴じていつでも確認できるようにしている	